

本 会 記 事

1 昭和47年度総会ならびに研究発表会

四国植物防疫研究協議会昭和47年度総会ならびに研究発表会は、11月21日に四国農業試験場（善通寺市）において開催され、約120名が出席しました。

(1) 総 会

午前10時から開会され、昭和46年度会務報告が承認されたのち、昭和47年度事業計画ならびに予算が上程され、原案どおり承認されました。

(2) 協 議

午前11時から行われました。第1議題として“農薬の剤型と防除効果”をとりあげ、①新剤型農薬の概要（住友化学 広瀬忠爾）、②イネの殺菌剤（愛媛農試 重松喜昭）、③イネ殺虫剤（香川農試 尾崎幸三郎）、④野菜殺虫剤（高知農林技研 松崎征美）の4項目について意見の交換が行なわれました（カッコ内は話題提供者）。第2議題の“昭和48年度病害虫防除方針設定上の問題点”では、①植物防疫上の重要対策と防除方針と②農薬残留上の問題点について、各県の主要問題を出し合い、意見を交換しました。

(3) 研究発表会

午後3時30分から、つぎの9題の発表が行なわれました。

大熊衛*・尾崎幸三郎：予察灯の光源の種類と誘殺昆虫との関係

釜田亮*・松沢寛：アカエグリバの羽化ならびに交尾について

松本益美*・近藤武由・隅田俊三・吉岡幸治郎・高橋晋・南条治彦：愛媛県内主産地方におけるサトイモ連作障害の発生実態

重松喜昭・橋泰宜・土居隆洋・河野弘*：非水銀もち防除剤の散布適期について

十河和博*・上原等・都崎芳久：イネの栽培様式と粃枯細菌病との関係

重松喜昭・橋泰宜・南条治彦：露地キュウリ・モザイク病感染時期と病原ウイルスについて

柏木弥太郎・福西務*：ハス褐斑病（新称）について

池内辰雄・草川顕一・黒原春男*・田村五郎・村上次男・井上孝：ショウガの心喰虫（アワノメイガ）の生活史と各種防除法 1. 発生生態と薬剤防除

池内辰雄・草川顕一*・黒原春男・田村五郎・村上次男・井上孝：ショウガの心喰虫（アワノメイガ）の生活史と各種防除法 2. 生態的防除法とその効果について

（*は演者）

2 明年度総会

昭和48年度の本会総会は、本年秋、徳島県において開催の予定です。

3 死 去

本会会員 田村礼二氏（徳島県）は昭和47年8月25日心臓まひにより、また、松沢寛氏（香川県）は昭和48年6月10日心筋こうそくにより逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。